

ESD通信



～自分を輝かせ、持続可能な社会に貢献する人へ～

(教頭：平野正)

今年、新型コロナウイルスの関係でまさに予想できない状況が続いています。答えのない課題に対してみんなで知恵を絞り、協力しながらこの難局を乗り切りましょう。

本校のESD、SDGsの取り組みも計画通りには進んでいませんが、今できる取り組みをやっていききたいと思います。ここまでの取り組みを報告させていただきます。

○生物多様性と環境保全

「テングシデの研究」

6月10日(水)中1全員：広島大学名誉教授の中越信和先生をお迎えし、特別講義と文化庁特別許可のもと、テングシデ群落内フィールドワークを行いました。

9月23日(水)中1全員：中越先生をお迎えしてグループごとの中間発表会を行いました。

中2課題研究チームの発表もありました。

6月28日(日)、9月14日(月)中2研究チーム：4年前から続けている、テングシデ群落内の幼木保護と継続調査を行いました。今年、新たに5本の幼木を保護しました

「オオサンショウウオの研究」

8月1日(土)中3研究チーム：豊平志路原地区にあるオオサンショウウオ人口巣穴の掃除を安佐動物園、三ちゃんS村の方にご指導いただきながら行いました。

8月12日(水)中3研究チーム：豊平志路原川支流の松歳川で、安佐動物園の夜間調査に参加させていただきました。

9月24日(木)中2全員：豊平地区三ちゃんホールにて安佐動物園南心司園長を講師にオオサンショウウオに関わる特別講義と人工巣穴におけるフィールドワークを行いました。

中2研究チームが、オオサンショウウオの幼生と主についての研究を継続しています。



(中1テングシデ中越先生) (中2オオサンショウウオ南園長先生) (中3八幡湿原フィールドワーク)

※ 広島県科学賞入選！

中3オオサンショウウオ研究チームの「オオサンショウウオの幼生の巣立ち3」が第64回広島県科学賞入選を頂きました。

「八幡湿原と生物多様性」

10月9日（金）中3全員：芸北高原の自然館白川先生、トレッキングガイドさんのご指導のもと、八幡湿原でのフィールドワークを行いました。また中3研究チームは、八幡湿原で採取されたカスミサンショウウオ（イワミサンショウウオ）の卵から生まれた幼生の飼育、観察を継続しています。

○人権・平和・異文化理解

7月29日（水）中2全員：8月6日を前に日本被団協代表理事で広島県被団協理事長代理の箕牧智之先生を講師にお招きし、平和の実現に向けての特別講演をしていただきました。

10月9日（金）中2全員：広島学習のまとめとして広島平和記念資料館を訪問し、語り部の方による講話と見学を行いました。その後2学期は、沖縄修学旅行の事前学習を行いました。

○地域貢献

10月21日（水）中2全員：新庄地域、龍山神社や道路のボランティア清掃を行いました。



（中2：箕牧先生特別講演）



（中2：新庄地区ボランティア清掃）



（高1・2：探究中間発表会）

○高1・2 探究

土曜日の探究授業を中心に、新庄探究サポーター（専門家、保護者等）のご指導のもと、各自が自分のテーマを決めて、研究を進めています。クロームブックの全員配布も終了し、探究活動の環境も整いました。11月21日（土）にはクロームブックを使いながら、グループごとに分かれて、各自の研究の中間発表会を開きました。

○文化週間・文化発表会（中高）

今年の文化祭は新型コロナウイルスの関係で中止になり、文化週間として、研究成果を11月5日～17日北広島町図書館ギャラリーと大ホールに作品やポスター展示をし、関係するSDGsのマークを貼りました。



（中高：文化週間北広島町図書館展示）